

5月の授業記録をお送りいたします。

向夏の間——ご父母各位におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

季節は移ろい、早くも梅雨の訪れでございます。しばしすっきりとしない空模様が続くかと思われませんが、それはすなわち灼熱の太陽が照り付ける日々が近づきつつあるということ——今年もまた、受験生にとって「勝負の夏」がやってまいります。

さて、所沢市内の各中学校では先月から今月にかけて1学期の中間試験を行ったかと思うと、今度は来月上旬に1学期の期末試験を控える学校が多くございます。当塾では「定期試験対策」を試験1週間前より連日実施しておりますので、ぜひご父母各位におかれましては、お子様に対しまして、ぜひ積極的に塾を活用して来たる試験へ向けしっかりと備えるようにお声がけをお願いいたします。

また中3受験生の中には、部活動の引退を迎えたお子様もいらっしゃるかと存じます。通常の授業以外の曜日・時間帯であっても、教室の自習スペースを随時開放しておりますので、ご家庭での学習が捗っていないようであれば、ぜひとも教室へお預けください。「受験生としてどういった学習が必要なのか」「今、すべきことは何なのか」など、本格的に受験勉強へ向かおうとする1人1人のお子様に対し、真摯に向き合いながら丁寧に指導してまいります。



■塾からのご案内■

① 今月中旬～7月上旬に「保護者対象・個別面談」を実施します。

今月中旬～7月上旬にかけ、在塾する小中学生の保護者各位を対象に、「個別面談」を実施させていただきます。教室長との「1：1」の形式で、お1人様につき約40分をおとりいたします。

塾での学習状況や今後の学習の展望、進路にまつわるご相談など幅広くお話をさせていただきたいと思います。詳細に関しましては、各ご家庭にお送りした「ご案内状」をご覧ください。

② まもなく、「夏期講習のご案内」を各ご家庭に送付いたします。

本年の夏期講習は7月25日（火）～8月29日（火）の間、正味26日間実施いたします。「夏期講習のご案内」が完成しましたら速やかに各ご家庭に送付いたしますので、講習の詳細についてはそちらで内容をご確認ください。なお、塾より「受講のご提案」も添えさせていただきますので、そちらにもお目通しをいただければ幸いです。

学習のアドバイス

今回は社会の「地理の勉強法」について取り上げますが、その前にどうしても押さえてほしいことがあります。それは「社会は知識がすべてだ」ということです。「知っているも正解できるとは限らない」他の教科と違い、社会は「知っているれば正解できる」、つまり覚えた知識が得点に直結する教科なのです。ただし、その知識には量と正確さが求められますので、「なんとなく覚えている」という曖昧な状態では得点に結びつかないことも押さえておいてください。

それでは、具体的な勉強法を見ていきましょう。

まずは各地方・地域ごとに地形や気候などの自然環境と、農業・工業・商業などの産業の特色を表に整理していきま。このときに注意することは、いきなり国や都道府県ごとに整理しないことです。遠回りに感じるかもしれませんが、大枠だけに絞って覚えてから少しずつ分類を細かくしていった方が、短時間で何回も繰り返すことができるので確実に記憶に残ります。

次に表に整理した内容を、白地図に記入していきましょう。文字情報だけでは記憶に残りにくい面がありますので、視覚的な刺激を与えてイメージを膨らませていくと記憶がより強化されます。白地図は市販されているもので構いません（インターネットでも無料でダウンロードできます）が、絵に自信がある人は地図帳を見ながら自分で白地図を作って見るのもいいかもしれません。

最後に知識を活用する力を養うために学校のワークや市販の問題集に取り組むわけですが、このとき必ず「テストと同じ状態」で臨んでください。わからないからといって解答を「チラ見」して正解した気分になったり、まとめを見ながら答えたりしているようでは全く意味がありません。「できたもの」と「できなかったもの」をしっかりと区別して、できなかった部分を徹底的に見直ししましょう。



平成29年度入試を振り返って ③

前は県内私立高校の応募状況について分析しましたが、いかがでしたでしょうか。今回は県立高校入試の難易度について、平成29年度入試の平均点をもとに分析してみたいと思います。

学力検査問題における平均点は258.8点で昨年度より10.6点下がりましたが、教育委員会が発表した予想平均点は256点、科目ごとに見ても予想の平均点と実際の平均点の差が5点前後でしたので、期待通りの結果と言えます。科目別の平均点ですが、国語は53.3点、数学が44.4点、社会が60.6点、理科が48.5点、英語が52.0点でした。英語と数学は学力上位層が学校選択問題に回った影響が大きく、問題が易化したにもかかわらず昨年を下回りました。共通問題では、国語と社会は若干下がりましたがほぼ昨年並みでした。理科は前年がかなり難しかったことを踏まえて易しめに問題を作成したようで、10点ほど上がり例年並みに回復しました。全体としてバランスのいい入試になったと思います。学校選択問題における平均点は、英語が71.9点、数学が43.2点でした。予想平均点は英語が65点、数学が60点でしたので、英語はまずまずでしたが数学は思惑とかなり違う結果となってしまいました。まだ設問ごとの正答率や標準偏差などの詳しい分析結果は出ていませんが、英語と数学ではあまり差がつかず、国語・理科・社会の出来が合否を分けた模様です。こうしてみると、学力検査問題については今回の傾向が続くと思われませんが、学校選択問題については、改善の余地がありそうです。参考にしてください。

教室長日記

勉強って…?



「正直、こんなことを勉強する意味ってあるのだろうか…」

勉強に向きあっているうちに、誰もが1度くらいはこのような気持ちを抱いたことがあると思います。今回はそんな皆さんのために、今回は勉強にまつわる「名言」を2つご紹介しましょう。

まずは、昭和初期を代表する作家・太宰治の著書『正義と微笑』からの一節です。

〈学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなければいかん〉

次に、20世紀を代表する物理学者・アインシュタインが口にしたことばです。

〈学べば学ぶほど、自分が何も知らないことに気づく、そのことに気づけば気づくほど、一層学びたくなる〉

確かに日々の勉強の中でそれが「退屈」に思えたり、「無意味」に感じることもあるかもしれませんが、しかし、こういった先人のことばを心に留めながら、ぜひ1分でも長く机に向かって、懸命に学んでいきましょう。

努力して学ぶその先には、きっと光り輝く「未来」があるということを信じて。

(所沢校 中島)

北辰テスト及び過去問題のご案内

中3受験生を対象に、4月より北辰テストが実施されております。来年の1月まで（8月を除いて）毎月計実施されます。すでにご承知の方もいらっしゃるかと存じますが、**当塾から北辰テストのお申し込みが可能**でございます。また当塾では**《通常授業で受講している教科の北辰テストの過去問題(昨年度)》を無料でさしあげております**。また、通常授業で受講されていない教科の過去問題は実費（数学のみ600円・その他の教科は700円）をいただければお渡しすることができます。入念な準備をしてテストに臨むために**過去問題は大変重要なツール**ですので、**受験生は5教科の過去問題をなるべく早めにそろえておくこと**をお勧めいたします。

また、個別指導会の各教室では、試験の直前に「北辰テスト対策」を実施しております。実施の詳細は教室ごとに異なっておりますので、詳細は各教室までお問い合わせください。

中3受験生とご家庭へ「彩の国 進学フェア」のご案内

■日時 7月22日（土）・23日（日） 10:00～17:00

■会場 さいたまスーパーアリーナ ※入退場自由・予約不要・入場無料

埼玉県内の公立高校及び県内外の私立高校の約300校（ほぼすべての学校）の担当者が一堂に集まり、ご参加の方に対して自校の紹介や入学・進路相談を行います。このフェアを通じ、受験生とご家庭にとって重要な、「どこにどんな学校があり、ど

んな教育内容を提供しているか」をしっかりと把握することができます（ただし、成績表をお持ちになっても、その場で入学を保証するようなことを尋ねることはできませんので、その点ご注意ください）。

主な対象は中学3年生とその保護者の方ですが、その他の学年でもご参加は可能でございます。また、例年多くの方が参加されるので、当日は大変混み合うことをあらかじめお含みください。

詳細は、<http://vsmedia.jp/>にアクセス、もしくは「**彩の国 進学フェア**」で検索してみてください。